

△ 本製品は基部に整合回路がありますので、同シリーズであっても他機種のエレメントを使用することができません。

取扱説明書

このたびはダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。ご使用のまえにこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保存してください。

安全上のご注意

表示マークについて

お使いになる人やその他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

ご使用にあたり次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損傷の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	人体が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意	人体が障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	△マークは警告、注意を促す内容です。表示マークに具体的な内容を示しています。
	○マークは、してはいけない(禁止)内容です。表示マークの後に具体的な内容を示しています。
	●マークは必ず実行していただく(強制)内容です。表示マークの後に具体的な内容を表示しています。

●お客様または第三者が、本製品を誤った使用、使用中に生じた故障、不具合及び本製品によって受けられた障害につきましては、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

- 送信中のアンテナに手を触れない。**
送信中のアンテナに触ると感電することがあります。停車中に運用するときは、アンテナの近くに人がいないことを確認してください。
- アンテナを倒した状態にしない。**
アンテナの先端は細くなっております。誤って目や体に刺したりしないため、どの状態でもアンテナはまっすぐ立てた状態にしてください。また、クルマの幅、全長からはみ出すような取り付けはしないでください。
- 強い衝撃を与えない。**
走行中、障害物や木の枝にアンテナをぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損したアンテナが落下して大変危険です。十分注意して走行してください。
- 法定速度を超えて走行しない。**
大きな風圧や振動でアンテナが脱落することがあります。法定速度を守り安全に走行してください。

注意

- 分解しない。**
アンテナは分解しないでください。故障、破損の原因になります。
- 点検をする。**
走行する前にネジ、ビス類が緩んでいないか点検してください。もし緩んでいたら締めなおしてください。また、粘着テープの強度は長期使用により低下することがありますので定期的にご確認ください。

■アンテナを取り付ける ※アンテナ先端の高さが地上より3.8mを超える場所に取り付けることはできません。本製品の全長とクルマの高さをご確認ください。

※アンテナは、クルマよりはみ出さないようにしてください。エレメントを折り曲げた状態でもご確認ください。

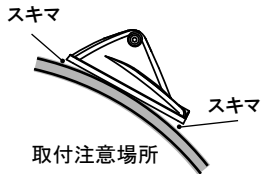
- ① 取り付ける場所が決まりましたら、粘着テープをはがさずに取り付け面に基部をあててください。基部の全周面が取り付け面に密着しているか確認してください。大きく湾曲した部分への取り付けは粘着強度が弱く脱落することがありますのでご注意ください。

※ノンラジアルタイプのアンテナは、ガラス面への取り付けが可能です。フロントウィンドウ及び運転操作の支障をきたす場所に取り付けることはできません。また、ワイパー動作の支障をきたす場所や、リアガラスの熱線部分に取り付けることもできません。また、スライドするウィンドウにも取り付けないでください。

- ② クルマの取り付け面の汚れや油分を良く取り除き乾燥させてください。湿度の多いところではドライヤーなどで軽く温めてください。

※粘着テープは24時間で粘着強度が安定します。取り付け後24時間は、アンテナエレメントを取り付けて走行しないでください。

※塗装面での貼り付けは、長期間貼り付け後はがしたときに他の部分と色が異なることがあります。特に紫外線の影響を受けやすい色はご注意ください。



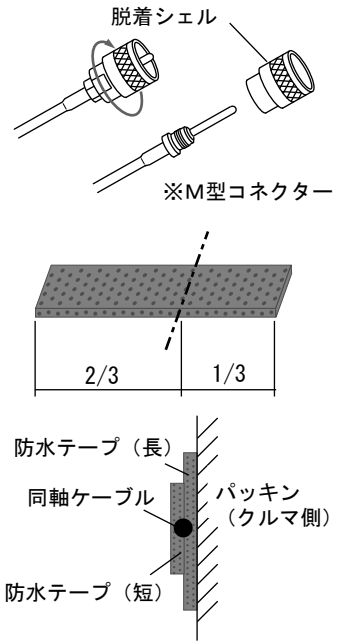
■ 同軸ケーブルの引き込み

M型コネクタは、脱着式になっております。車内に同軸ケーブルを引き込むときに、脱着シェルを外して細い穴に引き込むことができます。脱着シェルを反時計回りに回転させてください。固い場合はスパナ等をご使用ください。

脱着シェルを再度取り付ける場合は緩んで落下し無いよう、しっかりと締め付けてください。

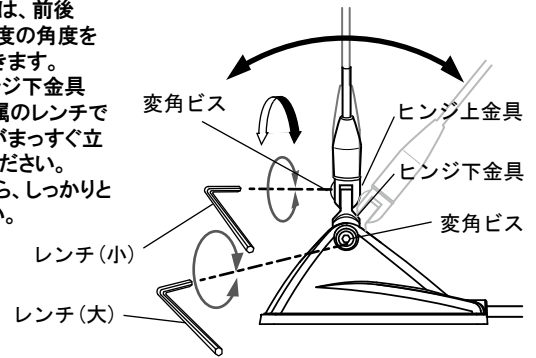
※ SMA型コネクタは、脱着式になっておりません。

付属の防水テープを約2:1の割合で、ハサミ等でカットしてください。車内に引き込むときに、クルマのパッキンにあたる部分に長いテープを貼り付けます。長いテープの中央に同軸ケーブルを挟み、その上から短いテープを貼り付けます。



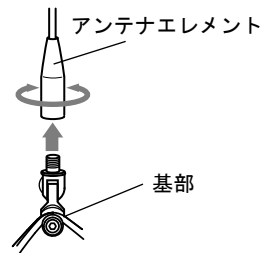
■ アンテナの角度調整

アンテナエレメントは、前後左右方向に約180度の角度を調整することができます。ヒンジ上金具、ヒンジ下金具の、変角ビスを付属のレンチで緩めて、アンテナがまっすぐ立つように調整してください。調整が済みましたら、しっかりと締め付けてください。



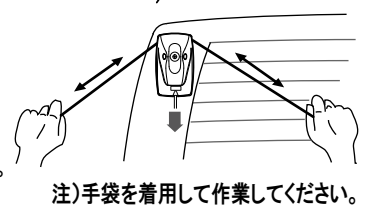
■ アンテナエレメントの取り外し

洗車するときなどは、アンテナエレメントを基部から取り外すことができます。アンテナエレメントは工具などは使用せず、手で回転させて取り外してください。



■ 基部の取り外し

基部は、強力な粘着テープで取り付いています。無理にアンテナを持って引っ張ったりしないでください。取り外すときは、市販のたこ糸を基部の奥にかけて、左右の手で持ち、左右に引っ張りながら、ゆっくりと手前に引っ張ってください。無理に手前に引っ張りますと、たこ糸は切れます。再度他の場所に取り付けるときは、基部についた粘着テープをきれいにはがして、油分を取り新しい粘着テープ(別売)を使用してください。



● 規格

本製品の規格につきましては、パッケージに記載しております。パッケージでご確認ください。

- お買い上げいただきました製品は、厳重な管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Printed in Japan. 2014年10月初版発行

